



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局
Tel 090-4825-7174 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 415 号

(創刊 1988 .12.14)

2024.04.07.

事業者との質問・回答会議の開催

3月27日(水)開催, 概要報告します。

質問項目1: 桂台トンネル下り線の本掘進開始時期について

昨年 2023 年 5~6 月の工事説明会資料において、「下り線の掘進は 10 月までに後続台車の移動・接続を行い本掘進を開始予定」と記載されていた。

しかるに 11 月中旬の現場には「2024 年 2 月中旬まで本掘進準備中」と掲載されていた。工事長に問い合わせると、当初想定の新進どうりで本掘進は 3 月初旬である、と説明を受けた。

質問①: 説明会資料は虚偽な内容を記載して住民説明をしたのか。

【回答】

8 月頃になって、ある沿線団体から別件の問い合わせがあった際に、作業が遅れており本掘進は年明けになる、と説明をしている。計画の変更であって虚偽の説明ではない。

【当方の見解・意見】

説明会は沿線複数の自治会、団体に対して資料を持って行われたものであって重大な行程変更はそれら関係者に説明すべきであり、工事長及び工事所管理者の責任は重大である。管理体制問う! 改善されたい。

加えて、短期間で計画変更せざるを得なくなったことは如何に杜撰な計画であったかを示している。

質問②: 公田 IC 排出土砂は、下り線本掘進の土砂と併せて桂台トンネル上り線内で移送する計画であった。下り線トンネルの工事遅れは西ヶ谷団地等地上部をダンプトラック騒音被害の継続に繋がる。

上り線トンネル内での搬出時期はいつか。

【回答】

本年 10 月頃と計画している。

【当方の見解:意見】夏場の住居窓開放時期前に工事を終えて貰いたい。

質問項目 2 : 公田換気所地下構造物工事について

質問①: 工事積算内訳書では掘削数量 57,559 m³、処分量はその 1.46 倍の 84,164 m³となっているが違いは何か

【回答】

地山掘削数量に対しほぐし土量は体積が増大する、軟岩 B の標準的換算係数による。

質問②: 土砂搬出経路について、2025 年 1 月までは神戸橋から環状 4 号により朝比奈 IC まで運搬とある。公田 IC 工事区の土砂搬出は全工事合わせて片道 150 台/日以下、且つ、神戸橋からの搬出経路は朝比奈 IC 方面、戻り車両は環状 3 号から本郷車庫地点で環状 4 号経由で神戸橋から工事区に入る約束となっている。換気所工事でも同様の対応を求める。

【回答】

戻って確認する。

質問項目 3 : 横環南線の事業費負担割合について、前回の会議において事業費の一部を通行料金引き当てによる制度が導入されたとの説明を受けた。計画決定時及び改正時期と改正後の負担割合はいくつか

【回答】

事業費負担割合は、国 2/3、地方自治体 1/3(政令指定都市のため全額横浜市)である。(通行料金による事業費負担の有無、内容は国・市、NEXCO とも承知していないようであった)

【当方の見解・意見】

国交省に対して調べて週末までに連絡頂く約束であったが、いまだに連絡は無い。

(事務局長 長谷川誠二)

神奈川県建築学科と庄戸住民

日本の将来を担う爽やかで礼儀正しい学生さん達との語らいは、私たち住民にとって大変新鮮な体験となりました。

7年前、神奈川県工学部建築学科の学生さんが「トンネル工事による庄戸の地盤への影響」を卒論の題材として測定、解析する研究がスタートしました。

地下の状態を知る為には、一般的にはやぐらを立てて、掘削作業でサンプルを採取するボーリングが行われています。多くの経費や時間も必要な大変な作業です。

神奈川県では時代の最先端の表層微動探査機を利用して、微小な地盤の振動を計測する事により地盤の変状を監視する方法で、器機を地面に置くだけで地下数十メートルの状態を分析しました。一日に20地点以上の計測も可能です。

毎年、春と秋の2回、庄戸全体の約300地点で計測が行われ、解析結果は年度末に学生さんが卒論としてまとめた報告が行われました。報告会では荏本教授が地震工学の基礎から大変丁寧に解説して下さい、私たち素人の住民の質問にも優しく答えて頂き、学ばせて頂きました。

7年間の計測、解析の結果、庄戸は造成盛り土の多い住宅地ですが、他の住宅地に比べて大変良好で、全体的に堅固な第一種地盤であること、そしてトンネル工事の影響を受けていないことが証明されました。環境を守るために大学と住民が7年間継続して協力し、調査したことは画期的な事です。庄戸三丁目では調査の立ち合いのお手伝いに、毎年約20人の住民が参加し、7年間で延べ140名以上の住民が調査に立ち会ったこととなります。この調査は住民にとって身近な存在になりました。住民側の要望を快くお引き受けいただいた荏本教授はじめ大学関係者の皆様には心から深く感謝申し上げます。

庄戸では工事着工前からNEXCOが水準測定と地下水位測定を3ヶ月ごとに行って住民にデータを開示しています。今後、庄戸の大断面のトンネルが完成して、一日に6万台近い車が通行するようになった時、ど

のような変化が起こるか、神奈川県とNEXCOの計測データは貴重な資料となります。

又、日本は地震大国で、いっどこで大地震が起こっても不思議でないです。トンネル工事の有無に拘わらず自分達が住んでいる土地の地下の状態を知ることが防災としてもとても大切な事です。



(庄戸三丁目 田中恵子)

桂台トンネル下り線本掘進開始

3月8日から開始された下り線シールドトンネルの本掘進は3月31日までに80m掘り進み、湘南桂台住宅地に差し掛かりました。新しい滑剤注入と掘進速度の抑制によりマシン直上では騒音も振動も殆ど感じませんでした。桂台第4公園の公衆便所の中でかなり大きな音がしました。今後、屋外では感じなくても室内で騒音・振動を感じる虞があります。万が一、体に障るような音や振動があれば我慢せず事業者へ苦情を申し出てください。連協では記録のための振動計を用意しております。いつでもお貸ししますので気軽にご依頼ください。

保育園通りからあさもや緑道までの400mは、直径15mのトンネルの離隔がわずか38cmの超近接工事区間になります。自宅の門扉や玄関ポーチにヒビなどの異常が生じた場合は工事を止めて調査する必要があります。

事前に写真を撮っておくことをお勧めします。

(副会長 大橋 宏)

【対外活動報告】

03/15 外環道低周波騒音振動調査会(ZOOM 会長)

03/16 神大講演(庄戸会館 会長他)

03/17 公共事業改革市民会議 世話人会
(ZOOM 会議、会長)

03/21 栄区区政推進課(会長)

03/27 事業者との質問・回答会議(西ヶ谷)

03/28 高瀬司法書士(会長)

04/05 外環道低周波騒音振動調査会(ZOOM 会長)